

音楽の秋

朝のあいさつ運動、「あいさつロード」が行われています。1，2棟の昇降口付近に、ペア学年グループで並んで、登校してきた人に向けて元気にあいさつをしています。

さっそく運動の効果が出てきたのか、このところ朝に門のところで見守っていると、あいさつがしっかりできている人が増えているように思われました。「おはようございます」と声を出すだけでなく、こちらに顔を向けて目を見てあいさつできる人が多くなったようです。この調子で「しっかりあいさつ」を続けてほしいと思います。



9月28日（木）、テレビ放送で音楽朝会を行いました。9月の歌「もみじ」を各教室で歌いました。校歌も1番だけ歌いました。

その後、150周年実行委員会から記念品の法被（はっぴ）が完成したことの紹介がありました。デザインをした5年生から、釜利谷の桜、流れる水や裏山のイメージを表したとの発表がありました。運動会のときに5，6年生が着用して、ソーラン節を踊ります。これまでは町内の法被をお借りしていましたが、これからは学校として代々受け継いでいくこととなります。



9月29日（金）、5年生とふれあいコンサートに行ってきました。

みなとみらいホールで、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の演奏を聴きました。どこかで聞いたことがあるような有名な曲の数々が演奏され、楽器とその奏でる音の紹介もありました。1時間があっという間で「もう終わり？」と感じられるほど、充実していました。

5年生は激しい曲で体を動かしながら聴いたり、静かな柔らかい曲でリラックスしすぎてしまったりするなど、普段できない体験に反応も様々でした。生演奏の迫力や心地よさを、肌で感じることができました。

移動の徒歩や電車でのマナーがしっかりできていて、さすが釜利谷小学校の5年生でした。